

平成15年度 羽村市予算ダイジェスト

一般会計・特別会計・公営企業会計予算の規模

一般会計・特別会計

(単位：千円、%)

区 分		平成15年度	平成14年度	増減額	増減率
一 般 会 計		19,086,000	19,055,000	31,000	0.2
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	4,138,562	3,692,405	446,157	12.1
	老 人 保 健 医 療	2,891,016	3,132,115	241,099	7.7
	介 護 保 険 事 業	1,513,591	1,485,508	28,083	1.9
	保 険 事 業 勘 定	1,465,333	1,433,747	31,586	2.2
	介 護 サ ー ビ ス 事 業 勘 定	48,258	51,761	3,503	6.8
	羽ヶ上土地区画整理事業	22,664	26,328	3,664	13.9
	羽村駅西口土地区画整理事業	297,175	0	297,175	皆 増
	下 水 道 事 業	2,522,285	2,202,600	319,685	14.5
	特 別 会 計 合 計	11,385,293	10,538,956	846,337	8.0
合 計		30,471,293	29,593,956	877,337	3.0

水道事業(公営企業)会計

(単位：千円、%)

区 分		平成15年度	平成14年度	増減額	増減率
収 益 的 収 入 及 び 支 出	収 入	1,264,007	1,275,770	11,763	0.9
	支 出	1,175,240	1,209,877	34,637	2.9
	収支差引	88,767	65,893	22,874	——
資 本 的 収 入 及 び 支 出	収 入	1,385,766	396,973	988,793	249.1
	支 出	1,764,579	728,769	1,035,810	142.1
	収支差引	378,813	331,796	47,017	——
全 会 計 単 純 合 計		33,411,112	31,532,602	1,878,510	6.0

一般会計予算の概要

★ 予算の規模 190 億 8,600 万円

平成 15 年度の一般会計予算の規模は 190 億 8,600 万円で、前年度当初予算の 190 億 5,500 万円に比較し、3,100 万円、0.2%の微増となります。

当初予算額の推移

(単位：千円、%)

区 分	平成 10 年度	平成 11 年度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
当初予算額	20,050,000	18,520,000	18,480,000	18,270,000	19,055,000	19,086,000
増減額	40,000	1,530,000	40,000	210,000	785,000	31,000
増減率	0.2	7.6	0.2	1.1	4.3	0.2

参考 国の予算及び地方財政計画、東京都の予算

(単位：億円、%)

区 分	平成 15 年度	平成 14 年度	増減額	増減率
国（一般会計）	817,891	812,300	5,591	0.7
地方財政計画	862,100	875,666	13,566	1.5
都（一般会計）	57,295	59,078	1,783	3.0

★ 予算のポイント

➤ 歳入の概要

市税は減少、市債や基金などの活用による財源確保

市 税

市税は 105 億 2,685 万円で、前年度比 3 億 4,320 万円、3.2%の減を見込んでいます。15 年度評価替えに伴う固定資産税の減少が大きな要因となっています。

なお、歳入における市税割合は 55.1%です。

市民税個人分 ……個人所得の低下などに伴い「9,160 万円、2.9%の減」

市民税法人分 ……一部企業の業績回復などから「3,000 万円、3.5%の増」

固定資産税 ……評価替えに伴う土地及び家屋評価額の低下、償却資産の減少などにより「2 億 7,339 万円、5.1%の減」

都市計画税 ……評価替えに伴う土地及び家屋評価額の低下などにより「6,515 万円、6.7%の減」

市たばこ税 ……税率の改正に伴い「4,915 万円、10.1%の増」

市税予算額の推移

(単位：千円、%)

区 分	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
当初予算額	11,847,961	11,227,216	10,830,637	10,864,620	10,870,057	10,526,853
増減額	213,024	620,745	396,579	33,983	5,437	343,204
増減率	1.8	5.2	3.5	0.3	0.1	3.2

市 債

市債は、12億1,570万円で、前年度比3億8,530万円の増となります。

これは、普通交付税制度の改正により、交付税算入経費の一部が臨時財政対策債として振り替えられたため、前年度比で2億3,000万円増、8億円の臨時財政対策債を見込んだことが大きく影響しています。

市債発行額と年度末残高の推移

(単位：千円、%)

区 分	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
市債発行額	1,563,400	437,900	813,400	621,900	878,000	1,215,700
市債償還額	1,414,434	1,369,991	1,423,343	1,390,964	1,390,261	1,417,369
元 金	954,303	931,658	1,016,032	1,016,491	1,050,970	1,105,738
利 子	460,131	438,333	407,311	374,473	339,291	311,631
年度末残高	11,930,672	11,436,914	11,234,282	10,839,691	10,666,721	10,776,683
公債費比率	8.3	9.4	9.8	9.4	9.5	9.7

平成13年度までは決算額、14年度は決算見込額、15年度は当初予算額です。

公債費比率は、普通会計ベースです。

基 金

基金の繰り入れは、前年度比2億494万円、19.0%増の12億8,484万円を計上しました。

(単位：千円、%)

区 分	平成15年度	平成14年度	増減額	増減率
財政調整基金	512,397	376,367	136,030	36.1
減債基金	50,000	100,000	50,000	50.0
特定目的基金	722,439	603,529	118,910	19.7
計	1,284,836	1,079,896	204,940	19.0

15年度末の基金残高は64億7,195万円と見込んでおり、前年度当初予算時と比較すると8億3,431万円減少しています。

地方交付税

地方交付税のうち普通交付税は、制度の改正などに伴い、国の交付税予算総額が減少することから、市税収入が減少しているにもかかわらず、不交付になる見込みです。特別交付税 9,000 万円のみを計上しました。

その他の収入

利子割交付金は、預金金利の低下により、前年度から 9,440 万円、58.5%減少の 6,686 万円を計上しました。

国庫支出金は、児童扶養手当給付費や東小学校防音機能復旧工事補助、生涯学習施設（仮称）西棟建設補助などにより、前年度比 2 億 6,143 万円、20.3%増加し、15 億 4,905 万円を計上しました。

都支出金は、福祉のまちづくり地域支援事業費、緊急地域雇用創出特別補助金などの減により、前年度比 1 億 7,407 万円、8.4%減の 19 億 1,031 万円を計上しました。

➤ 歳出の概要

消費的経費

消費的経費（人件費、物件費、維持補修費、扶助費、補助費等）は、前年度比 0.4%減の 135 億 5,074 万円を計上しました。

このうち、人件費は 0.5%減の 36 億 5,720 万円を計上しました。

また、補助費等は、瑞穂斎場組合負担金が斎場建設完了によりおよそ 1 億円減少したことなどから、前年度比 7.9%減の 31 億 6,271 万円を計上しました。

一方、物件費、維持補修費、扶助費は、新たな市民サービスの導入などにより前年度と比較して増加しています。

投資的経費

投資的経費は、前年度比 3.5%減の 14 億 6,152 万円を計上しました。

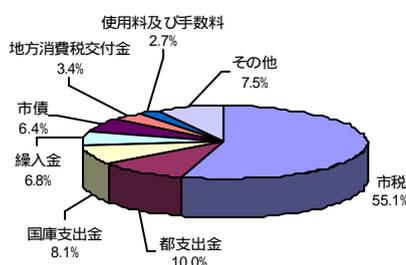
主な普通建設事業費は、生涯学習施設（仮称）西棟建設工事、羽村東小防音機能復旧工事、奈賀学習等供用施設防音機能復旧工事などがあげられます。

歳入

(単位：千円、%)

科 目	平成15年度	構成比	平成14年度	構成比	増減額	増減率	主要増減要因(前年度比較)
市 税	10,526,853	55.1	10,870,057	57.0	343,204	3.2	市 民 税(個人) 91,600 (法人) 30,000 固定資産税 273,387 都市計画税 65,151 市たばこ税 49,154
地方譲与税	125,000	0.6	117,000	0.6	8,000	6.8	自動車重量譲与税19,000 地方道路譲与税 11,000
利子割交付金	66,862	0.3	161,262	0.8	94,400	58.5	
地方消費税交付金	640,986	3.4	639,234	3.4	1,752	0.3	
特別地方消費税交付金	1	0.0	1	0.0	0	0.0	
自動車取得税交付金	134,869	0.7	148,831	0.8	13,962	9.4	
国有提供施設等所在市町村助成交付金等	211,550	1.1	200,843	1.1	10,707	5.3	
地方特例交付金	365,000	1.9	315,000	1.6	50,000	15.9	
地方交付税	90,000	0.5	250,000	1.3	160,000	64.0	普通交付税 160,000
交通安全対策特別交付金	10,500	0.1	10,500	0.1	0	0.0	
分担金及び負担金	202,519	1.1	210,321	1.1	7,802	3.7	知的障害者授産施設利用者負担金 8,224 他
使用料及び手数料	524,795	2.7	486,395	2.5	38,400	7.9	塵芥処理手数料4,155 公民館使用料 2,530 他
国庫支出金	1,549,045	8.1	1,287,620	6.8	261,425	20.3	児童扶養手当給付費106,968 生涯学習施設(仮称)西棟建設補助67,509 東小防音事業補助119,094 他
都支出金	1,910,309	10.0	2,084,378	10.9	174,069	8.4	福祉のまちづくり地域支援 62,675 緊急地域雇用創出 40,711 他
財産収入	29,937	0.2	16,988	0.1	12,949	76.2	基金利子11,421 土地貸付料1,176 他
寄付金	600	0.0	600	0.0	0	0.0	
繰入金	1,295,719	6.8	1,094,152	5.7	201,567	18.4	(内訳) 財政調整基金512,397 減債基金50,000 特定目的基金722,439 羽ヶ上会計繰入金10,883
繰越金	70,000	0.4	70,000	0.4	0	0.0	
諸収入	115,755	0.6	261,418	1.4	145,663	55.7	宝くじ協会助成金 100,000 融資資金返還金 58,000 他
市 債	1,215,700	6.4	830,400	4.4	385,300	46.4	(内訳) 武蔵野小大規模債34,900 生涯学習施設債250,800 減税補てん債130,000 臨時財政対策債800,000
合 計	19,086,000	100.0	19,055,000	100.0	31,000	0.2	

(歳入構成割合)

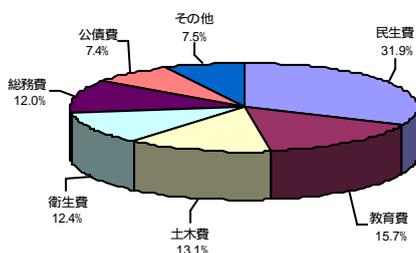


歳出 (目的別)

(単位：千円、%)

款	平成15年度	構成比	平成14年度	構成比	増減額	増減率	主要増減要因 (前年度比較)
議会費	248,006	1.3	242,323	1.3	5,683	2.3	議員報酬等8,119 他
総務費	2,295,155	12.0	2,331,607	12.2	36,452	1.6	奈賀学供防音工事 56,133 神明台会館空調工事20,100 庁内LAN機器等使用料16,581 土日開庁経費 14,559 双葉町会館新築工事等 113,300 中央地区学供工事 72,830 他
民生費	6,089,338	31.9	6,008,993	31.5	80,345	1.3	国保会計繰出金72,618 老人医療会計繰出金16,647 中央児童館空調改修工事19,350 児童扶養手当経費 142,625 福祉会館補助金返還金7,805 私立保育園運営費 44,380 福祉会館管理経費 21,827 児童館コンピュータ使用料 16,359 他
衛生費	2,356,701	12.4	2,386,952	12.5	30,251	1.3	ごみ収集経費 37,541 保健センター駐車場用地購入106,920 圧縮減容機購入12,716 ストックヤード整備工事 91,800 西多摩衛生組合負担金 28,082 三多摩広域処分組合15,594 瑞穂斎場組合負担金 98,702 福生病院組合負担金36,468 他
労働費	212	0.0	212	0.0	0	0.0	
農林費	60,723	0.3	73,508	0.4	12,785	17.4	端境期生産対策助成金 13,000 他
商工費	228,428	1.2	243,730	1.3	15,302	6.3	中心市街地活性化基本計画策定委託等10,000 企業活動支援員報酬等9,650 産学官連携プラン策定委託 15,000 工業団地案内板設置工事 9,000 商業振興計画策定委託 5,000 他
土木費	2,495,550	13.1	3,096,845	16.3	601,295	19.4	あきる野市道拡幅事業負担金17,419 3・4・16号線立体交差化実施設計57,000 根がらみ坂公園(仮称)整備工事17,719 下水道会計繰出金11,500 西口区画整理会計繰出金297,172 間坂第一踏切拡幅委託 81,354 道路新設改良工事(市道第1002号線外) 135,000 ザバナナ園整備工事 115,900 介山公園整備工事 90,736 西口整備基金積立金 300,000 西口整備用地 113,001 他
消防費	862,087	4.5	809,710	4.3	52,377	6.5	常備消防委託金17,609 消防自動車購入20,000 操法訓練出動旅費9,460 他
教育費	2,999,551	15.7	2,441,387	12.8	558,164	22.9	生涯学習施設(仮称)西棟建設工事545,472 東小防音復旧工事177,840 スミシングセンター塗装工事50,000 小中学校コンピュータ購入(2校)34,000 武蔵野小大規模改造工事 163,016 小中学校施設整備工事 20,420 他
公債費	1,418,500	7.4	1,393,231	7.3	25,269	1.8	元金償還 54,768 利子償還 29,499 他
諸支出金	3,517	0.0	5,665	0.0	2,148	37.9	
予備費	28,232	0.2	20,837	0.1	7,395	35.5	
合計	19,086,000	100.0	19,055,000	100.0	31,000	0.2	

(目的別歳出の構成割合)



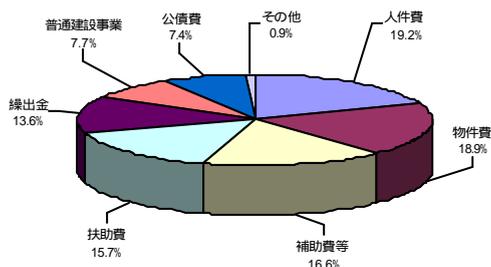
歳出（性質別）

（単位：千円、％）

科目	平成15年度	構成比	平成14年度	構成比	増減額	増減率	主要増減要因（前年度比較）
人件費	3,657,195	19.2	3,673,795	19.3	16,600	0.5	議員報酬等8,119 再雇用職員報酬10,021 企業支援員報酬等9,650 動物園長報酬等9,128 選挙手当11,453 職員人件費 93,196 臨時職員等社会保険料（物件費より性質変更）27,435 他
物件費	3,605,082	18.9	3,565,614	18.7	39,468	1.1	庁内LAN機器等使用料16,581 ごみ収集経費37,541 中心市街地活性化基本計画策定委託等10,000 小中学校コンピュータ購入34,000 土地利用計画策定委託 15,750 産官学まちづくりプラン策定委託 15,000 西口地区調査委託 14,763 身体障害者フェイス等障害者福祉施設運営費（補助費等より性質変更）163,902 福祉会館維持管理経費 21,500 公民館維持管理経費 32,651 他
維持補修費	121,924	0.6	106,484	0.6	15,440	14.5	街路照明灯補修工事7,476 保育園修繕582 スポーツセンター柔道場畳替え2,415 他
扶助費	3,003,830	15.7	2,821,003	14.8	182,827	6.5	児童扶養手当142,625 児童手当26,076 生活保護費12,537 老人福祉手当 13,900 他
補助費等	3,162,711	16.6	3,433,848	18.0	271,137	7.9	常備消防委託金17,609 福生病院組合負担金36,468 選挙運動用自動車交付負担金11,288 同ホスター公費負担金8,467 西多摩衛生組合負担金 28,082 瑞穂斎場組合負担金 98,702 三多摩廃棄物広域処分組合 15,594 端境期生産対策助成金 13,000 私立幼稚園保護者負担軽減補助金 10,994 身体障害者フェイス等障害者福祉施設運営費（物件費へ性質変更） 179,415 他
普通建設事業	1,461,520	7.7	1,514,333	7.9	52,813	3.5	生涯学習施設（仮称）西棟建設工事545,472 東小学校防音復旧工事177,840 奈賀学供防音機能復旧工事56,133 武蔵野小大規模改造工事 163,016 サバコ園整備 115,900 ストックヤード整備工事 91,800 間坂第1踏切拡幅 81,354 介山公園整備工事 89,868 西口整備用地 113,001 中央地区学供工事 72,830 双葉町会館新築工事 113,300 他
公債費	1,418,500	7.4	1,393,231	7.3	25,269	1.8	元金償還54,768 利子償還 29,499 他
積立金	24,870	0.1	316,822	1.7	291,952	92.2	羽村駅西口都市開発整備基金 300,000 他
繰出金	2,602,136	13.6	2,209,033	11.6	393,103	17.8	国保会計72,618 老人保健会計16,647 介護保険会計3,182 下水道会計11,500 羽ヶ上会計 291 西口会計297,172 他
予備費	28,232	0.2	20,837	0.1	7,395	35.5	
合計	19,086,000	100.0	19,055,000	100.0	31,000	0.2	

主要増減要因欄の性質変更とは、決算統計上での性質の取扱いルールが変更となったことを意味します。

（性質別歳出構成割合）



平成 15 年度予算の主要事業

～羽村市第四次長期総合計画における基本目標別リーディング・プロジェクト事業～

：新規事業
建設・改良事業
：レベルアップ事業
：重点施策推進事業

支えあい いきいきと暮らせるまち

1 安心して子どもを産み育てられる保育環境の整備【プロジェクト1】

男女共同参画社会の進展などにより女性の社会進出が進むなか、働く女性が安心して出産し、育児と仕事を両立していける環境を整備していくことが求められています。そのため、保護者の多様なニーズに応える保育メニューを整備します。

病後児保育の開始（新設1保育園）	7,323千円
一時保育の充実（私立2保育園）	5,460千円
延長保育の実施（私立8保育園）	22,194千円
休日保育の実施（私立1保育園）	1,600千円
地域子育て支援センター事業の実施（私立2保育園）	15,989千円
認証保育所への運営支援（市外施設・5歳児まで事業費補助拡大）	26,329千円
ブックスタート事業の実施	1,000千円

2 高齢者の生きがいづくりと自立の支援【プロジェクト2】

高齢者の生きがいづくりを支援するとともに、安心して地域で暮していけるための様々な生活自立支援策を推進し、高齢社会に対応した福祉の充実に努めていきます。

高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定	2,700千円
高齢者配食サービス事業の充実	12,435千円
高齢者自立支援住宅改修給付事業	4,708千円

3 地域で支えあう福祉活動の推進【プロジェクト3】

核家族化や高齢化が進むなか、羽村市社会福祉協議会と町内会・自治会などの連携事業である小地域ネットワーク活動を本市における共助の重要施策と位置づけ、その育成・支援を通して、市民相互が支えあいながら、それぞれが自立をめざせる共助の仕組みづくりを推進します。

小地域ネットワーク事業への支援（社会福祉協議会助成金）	2,730千円
地域福祉計画の策定	3,300千円

4 市民みんなの健康づくり運動の展開【プロジェクト4】

市民一人ひとりがいきいきと生活し、しあわせを実感するためには、健康が第一です。そこで、市民の健康づくりの指針となる「健康はむら21」（仮称）計画を策定し、市民みんなの健康づくり運動を展開します。

「健康はむら21」（仮称）の策定	2,176千円
母子保健講習の充実（中～後期離乳食講習）	75千円

5 その他

福祉のしおり改訂版発行	1,050千円
成年後見制度利用の確保	174千円

学びあい豊かな心を育むまち

1 家庭・地域の教育力の向上【プロジェクト5】

近年、青少年の非行、家庭内暴力、不登校など、様々な問題が深刻化しており、まちづくりを考えるうえでも重要な課題となっています。一方、親の子どもに対する虐待なども社会問題化しています。このような状況を解決するため、家庭・地域・学校の密接な連携による地域ぐるみの青少年育成と家庭・地域の教育力の向上に努めます。

輝け未来 文化・スポーツ講演会の開催	1,000千円
家庭教育セミナーの開催	200千円
地域教育シンポジウムの開催	65千円
夢チャレンジセミナーの実施	420千円

2 開かれた特色ある学校教育の推進【プロジェクト6】

児童・生徒が自ら課題を見つけ、学び、考え、判断する資質や能力を高める教育を推進するとともに、部活動や体験学習などを充実し、生きる力を育みます。また、保護者や地域などの意見を学校運営に反映させ、地域に開かれた学校づくりを進めます。

特色ある教育活動・指導（地域人材等の活用）	9,498千円
小中学校和楽器等の購入	2,013千円
学生教育ボランティアの配置	136千円
英語活動推進小学校にALTの派遣（羽村東小、羽村西小、武蔵野小）	1,530千円
通級指導学級の開設（羽村一中）	2,287千円
小学校巡回教育相談の実施	2,957千円

3 人と文化を育てる生涯学習の推進【プロジェクト7】

市民だれもが、いつでも学習・文化活動をすることができるよう生涯学習施設の整備を進めるとともに、市民が世代を超えて学び合い、学習を通じて豊かな心と文化を育てる生涯学習によるまちづくりを推進します。

生涯学習施設（仮称）西棟の建設	556,600千円
玉川上水開削350周年記念事業（シンポジウム・特別展・自然観察会等開催「玉川上水論集」発行）	7,585千円

4 生涯スポーツ社会の実現【プロジェクト8】

市民が、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションを楽しめる「生涯スポーツ社会」の実現に向けて、年齢や体力などに応じた各種スポーツ事業やレクリエーション事業などを充実します。また、運動を通じた健康づくりの重点的施策としてウォーキング事業の充実を図ります。

玉川上水開削350周年記念事業（玉川上水ウォークの実施）	178千円
------------------------------	-------

玉川上水開削 350 周年記念事業（羽村市駅伝大会の実施）	166千円
総合型地域スポーツクラブ審議会の設置	450千円
弓道場建設工事实施設計	3,000千円

5 その他

小中学校教室内の環境測定	356千円
小中学校屋外掲示板設置工事	3,557千円
コンピュータ買替、増設（武蔵野小、羽村三中）	34,000千円
武蔵野小学校大規模改造工事（老朽化対応3期分）	87,834千円
栄小学校校舎耐震診断	4,220千円
松林小学校屋内運動場耐震診断	1,336千円
羽村東小学校防音機能復旧（機器取替）工事	182,050千円
羽村第二中学校校舎耐震補強工事設計	2,529千円
羽村第二中学校防音機能復旧（機器取替）工事設計	5,126千円
図書館の図書・視聴覚資料等の整備	20,612千円
公共図書館横断検索システム参加に伴うサーバ暗号化	2,110千円
スポーツセンター照明機器取替工事	6,000千円
スイミングセンター外壁塗装・屋上防水工事	50,000千円
埋蔵文化財発掘調査（羽村駅西口土地区画整理区域内）	3,000千円

環境にやさしい安心して暮らせるまち

1 水と緑の保全と潤いある環境づくり【プロジェクト9】

多摩川の水質や自然環境の保全に努めるとともに、樹林地の保全と緑化を促進し、潤いある環境づくりに努めます。

水質等の環境調査	10,727千円
----------	----------

2 ごみの減量と資源化の推進【プロジェクト10】

地球的規模で資源の有効活用が求められており、最終処分場の容量に限りがあることから、排出されるごみの総量を減らすとともに、発生したごみを資源化することが重要な課題となっています。そこで、市民・事業者とともに、ごみ減量とごみの資源化を推進し、循環型社会の実現に努めます。

戸別収集・一部有料化の推進（廃棄物収集運搬委託）	282,232千円
〃（指定袋製造等委託）	50,000千円
〃（廃棄物処理手数料(指定袋)収納事務等委託）	17,714千円
〃（収納事務管理システム賃借料）	1,064千円
〃（減免袋、ボランティア袋、おむつ袋購入）	3,577千円
（参考）戸別収集に伴う手数料収入	154,988千円
拠点回収ボックスの充実（70基増設）	4,490千円
プラスチック圧縮減容機購入	12,716千円

3 地球環境にやさしい生活への転換【プロジェクト11】

整備と清流地区の公共下水道整備を推進し、快適な生活環境の創出を図ります。

多摩川上流処理区の雨水管渠の整備「特別会計」	402,450千円
多摩川上流処理区の污水管渠の整備(污水枝線工事)「 〃 」	38,850千円
流域下水道の整備(多摩川上流雨水幹線の整備等に伴う負担金)「 〃 」	179,856千円

5 その他

公共交通システム懇話会の設置及び市民アンケートの実施	443千円
根がらみ坂公園(仮称)整備工事	17,719千円
動物公園内補修工事(機関車)	1,000千円
公園バリアフリー化工事(水木公園、富士見公園ほか)	8,000千円
富士見公園防球ネット設置工事	3,600千円
しらかば児童公園ユニバーサルデザイン遊具設置	2,000千円
水木公園緑化工事	1,000千円
上水道高度浄水施設整備工事「企業会計」	1,366,067千円

活力に満ちたにぎわいのあるまち

1 経営基盤の強化と起業の促進【プロジェクト16】

企業が市内において安定的・継続的に操業できるよう産業振興施策を展開すると同時に、新しく会社を設立しようとする起業家への支援を行い、産業の活性化と雇用・就業の向上に努めます。また、工業地域内の未利用地への企業立地を促進します。

企業活動支援員の配置	9,650千円
「学術・文化・産業ネットワーク多摩」への参加	60千円
緊急地域経済活性化への助成(住宅リフォーム資金の助成)	3,000千円

2 魅力ある商業環境の創出【プロジェクト17】

地域の特性にあわせ、商店街活動の支援と中心市街地の活性化に取り組み、魅力ある商業環境と市街地の形成を図ります。そして、羽村市の吸引力を高め、都市間地域間の競争力を強化し、商業の活性化を図ります。

中心市街地活性化基本計画策定	9,000千円
「学術・文化・産業ネットワーク多摩」への参加(再掲)	60千円
小作駅前広場テント設置補助	8,000千円
商工会への補助	50,600千円

3 地域とともに歩む農業のあるまちづくり【プロジェクト18】

農業が自立的、継続的に行われるよう後継者の育成と農産物の販売・流通体制の充実などを支援すると同時に、市民の農業に対する理解を促進し、地域とともに歩む農業のあるまちづくりを推進します。

市有水田看板の設置	441千円
無公害農業推進事業への助成	400千円
農産物直売所への運営支援	3,994千円

4 その他

玉川上水開削350周年記念事業（実行委員会）	3,500千円
------------------------	---------

基本構想を推進するために

1 市民と行政の協働によるまちづくり【プロジェクト19】

市政への市民の参画を進めるとともに、ボランティアやNPO法人などが行う社会貢献活動を促進します。また、行政の様々な分野で市民と行政の協働によるまちづくりを重点に施策を展開します。

公共交通システム懇話会の設置及び市民アンケートの実施（再掲）	443千円
まちづくり推進サークル支援事業の実施	1,000千円
まちづくりフォーラムの開催	537千円
市長タウンミーティングの実施	

2 新しい行政サービス提供システムの構築【プロジェクト20】

多様化、複雑化する行政ニーズに対応した高水準の行政サービスを提供する先進的な自治体をめざし、高度情報化の便益を最大限に活用できる「電子自治体」の構築を進めます。

公共施設のネットワーク化（地域イントラネット）	9,747千円
総合行政ネットワークシステム（LGWAN）の導入	1,655千円
住民基本台帳ネットワークシステムの整備（第二次稼働）	8,021千円
都区市町村電子自治体共同運営協議会への参加	656千円

3 分権時代を拓く新たな行財政運営【プロジェクト21】

行政運営を効率的・効果的に推進していくため、行政評価制度による事務事業の見直しと行財政改革を積極的に推進し、分権時代に対応した新しい行財政システムを確立します。また、広域行政を推進するとともに、将来的な課題として合併について研究していきます。

市役所の土日開庁	14,559千円
西多摩地域広域行政圏事業の推進	2,023千円
市町村合併の研究	80千円

4 その他

ガイドブックはむらの発行	6,963千円
奈賀地区学習等供用施設防音機能復旧工事	56,133千円
神明台会館空調機器取替工事	20,100千円
中央児童館空調機器取替工事	19,350千円
女性相談窓口の開設	550千円
女性就労実態調査	149千円
自然休暇村経営改善等調査委託	1,500千円

特別会計・企業会計予算の概要

国民健康保険事業会計

予算規模 41 億 3,856 万円
(前年度比較：+ 4 億 4,616 万円)

医療保険制度全体が財政危機に直面している中、昨年 7 月 26 日に健康保険法等の一部改正法が成立、10 月 1 日から施行され、将来にわたって持続可能な医療保険制度とするための取り組みがスタートいたしました。

しかし、国保は国民皆保険制度の基盤を担っていることから、現役を退いた年金生活者や失業者、あるいはフリーターなどを抱えざるを得ない仕組みとなっており、多くの市町村で一般会計からの繰り入れを行いつつ運営しているのが実態であります。

このような状況の中で、当市の平成 15 年度国民健康保険事業会計予算の編成に当たっては、国庫支出金などの財源確保に努めたうえで、「老人保健制度の対象年齢の引き上げ」を始めとする制度改正の影響などを考慮しつつ編成いたしました。

こうして編成した平成 15 年度予算ですが、歳入歳出予算の総額は 41 億 3,856 万円となり、前年に対して 4 億 4,616 万円（12.1%）の増加となりました。予算総額が大幅に増加した要因は、療養給付費及び療養給付費の国庫負担等が、平成 14 年度は 11 ヶ月分の費用で算定していたものが平成 15 年度から平年度ベースの 12 ヶ月分の算定に戻ったこと、及び制度改正などによるものであります。

歳入では、保険税が 12 億 1,829 万円で、被保険者の増加などを見込み、前年に対して 5,624 万円（4.8%）の増額となりました。

国庫支出金及び退職被保険者に係る療養給付費交付金については、療養給付費 12 ヶ月分の負担などを勘案して、国庫支出金は前年に対して 1 億 3,835 万円（12.6%）増額の 12 億 3,378 万円を見込み、療養給付費交付金は前年に対して 1 億 5,689 万円（25.5%）増額の 7 億 7,174 万円を見込みました。

歳出では、加入者の増加が見込まれることや療養給付費が 12 ヶ月分の計上となったことから、保険給付費全体で前年に対して 3 億 1,510 万円（14.1%）増額の 25 億 4,314 万円を計上し、老人保健拠出金は前年に対して 4,778 万円（4.1%）増の 12 億 631 万円を計上いたしました。

また、高額医療費共同事業については、従来まで 1 件 80 万円以上の高額医療費が対象とされていましたが、平成 15 年度から 1 件 70 万円以上の高額医療費が対象になり、制度の拡充・強化が図られるとともに、国・都の負担についても明確化されたために、高額医療費共同事業に係る国・都の負担金、交付金、拠出金がそれぞれ増額となっています。

老人保健医療会計

予算規模 28 億 9,102 万円
(前年度比較： 2 億 4,110 万円)

老人保健医療制度は昭和 57 年に創設されましたが、その後の高齢化は予想以上の速度で進行し、老人保健拠出金負担が急激に増加したために、若い世代が負担に耐えき

れなくなっている現状があります。

このため、若い世代の拠出金負担の軽減を図り、後期高齢者に施策を重点化する観点から、老人保健医療の対象年齢を70歳以上から75歳以上に、公費負担の割合を3割から5割に、平行して5年間で段階的に引き上げる改正が行われました。

改正によって、老人保健医療の対象者は今後5年間減少し続けることが見込まれ、それに伴って医療費も減少することが予想されます。しかし、公費負担全体の割合が増加するので、国・都・市の負担が増加する一方で、支払基金交付金が減少していくことが見込まれます。

このような状況の中で編成した平成15年度老人保健医療会計予算ですが、予算総額は28億9,102万円となり、前年に対して2億4,110万円(7.7%)の減額となりました。

歳出の大半を占める医療諸費については、対象者の減少を見込み28億9,099万円を計上しました。

また、歳入については、改正された負担割合を考慮して算出いたしました。

介護保険事業会計 〔保険事業勘定〕

予算規模 14億6,533万円
(前年度比較：+ 3,159万円)

平成14年度末をもって、第1期の介護保険事業運営期間が終了するため、平成15年度は第2期事業運営期間の初年度となります。

このため、本年度の予算編成については、第1期の事業運営期間における保険給付費の実績を基に、今後の高齢化の進行による要介護者の増加等を勘案し、さらに、介護報酬改定による調整を行い、歳入歳出予算の総額を対前年度比2.2%増の14億6,533万円としました。

歳入では、第1号被保険者の保険料は、介護給付費準備基金を繰り入れることにより、上昇幅を抑制し、据え置くこととして、2億7,286万円見込み、国の法定負担及び事務費交付金を含めた国庫支出金を、3億372万円、第2号被保険者の保険料分である支払基金交付金は、法定負担率が引き下げられたことにより、対前年度比0.3%減の、4億3,205万円を見込みました。

また、繰入金は、市の法定負担及び人件費・事務費等の一般会計繰入金2億7,267万円と保険料の上昇を抑制するための基金繰入金1,512万円を見込み、合わせて2億8,779万円を計上しました。

歳出では、保険者事務等の経費である総務費を1億1,244万円とし、保険給付費は、13億5,015万円を見込みました。

〔介護サービス事業勘定〕

予算規模 4,826万円
(前年度比較：350万円)

介護サービス事業勘定は、介護保険法に規定する通所介護(デイサービス)事業を高齢者在宅サービスセンターいこいの里において実施するためのものです。

歳入歳出予算の総額は、前年度当初予算に比較し350万円、6.8%減の4,826万円と

しました。

歳入では、介護給付費等のサービス収入を 4,801 万円、一般会計からの繰入金を 24 万円見込み、歳出では、サービス事業費を 4,816 万円、総務費の一般管理費を 10 万円措置しました。

平成 14 年度には、サービス提供日を土曜日も追加した予算を計上しましたが、土曜日の利用が少なかったため、平成 15 年度予算はこれらを含めた実績に基づき予算を見込みました。

羽ヶ上土地区画整理事業会計

予算規模 2,266 万円
(前年度比較： 366 万円)

当該土地区画整理事業は、昨年度に引き続き、清算金事務等を実施するものです。

予算の規模は 2,266 万円で、前年度当初予算に比較し 366 万円、13.9%の減となりました。歳入には換地清算徴収金の 1,080 万円、一般会計からの繰入金 1,178 万円を見込み、歳出には事業費として一般会計への繰出金 1,088 万円、総務費として人件費等 1,178 万円を措置しました。

羽村駅西口土地区画整理事業会計

予算規模 2 億 9,718 万円
(前年度比較：皆増)

羽村駅西口土地区画整理事業は、施行期限を平成 34 年 3 月末までとして、実施するものです。

今年度の事業内容は、減歩緩和のための用地取得、土地区画整理審議会の設置、基準地積の決定事務等を実施するものです。

予算の規模は 2 億 9,718 万円で、歳入には一般会計からの繰入金 2 億 9,717 万円を見込み、歳出には事業費として委託料 7,858 万円、総務費として土地購入費 1 億 7,000 万円、人件費等 4,842 万円を措置しました。

下水道事業会計

予算規模 25 億 2,229 万円
(前年度比較：+ 3 億 1,969 万円)

本年度の雨水管渠整備事業につきましては、青梅市、羽村市、福生市の一部地域の雨水を排除するため多摩川上流雨水幹線工事が前年度に引き続き東京都により施工されるほか、福生市と協定した「羽村市公共下水道事業の事務の委託に関する規約」により、多摩川上流雨水幹線へ雨水を流入させる人孔設置工事について、当市分に係る工事費を負担金として福生市に支払い施工いたします。また、新都市建設公社と契約を締結した「羽村市下水道事業（平成 14 年度から平成 17 年度までの事業の一部）に関する業務委託」により、多摩川上流雨水幹線に雨水を流入させるための接続人孔 3 箇所の設置工事を行います。

なお本年度においても、治水対策の一環として、雨水浸透施設を設置する者に助成

金を交付し、雨水浸透施設の設置促進を図っていきます。

汚水管渠整備事業につきましては、汚水柵設置及び汚水枝線等の整備を行います。

維持管理事業としては、管渠の清掃（26km）、管渠等の不良箇所の補修、水質検査等を実施し、常時正常な公共下水道の機能を保持するよう努めて参ります。

歳入総額は、25億2,229万円で、主なものは使用料及び手数料7億9,041万円、一般会計繰入金10億7,550万円、市債6億3,610万円等であります。

歳出では、総務費関係5億1,256万円、事業費関係6億8,485万円、公債費13億2,373万円を見込み、総額25億2,229万円を計上いたしました。

水道事業会計

予算規模 29億3,982万円

(前年度比較：+ 10億117万円)

水道事業の収益的収入総額は、12億6,400万円で主なものは、水道料金である給水収益11億5,548万円と営業外収益の下水道事務取扱収益5,021万円等です。

支出は、鉛に関する水道基準が平成15年度より強化されるため、前年度に引き続き鉛製給水管布設替を実施し鉛製給水管の解消を図ります。

水道事業を経営していくための必要費用5億6,233万円と減価償却費3億512万円及び企業債利息2億8,190万円等を措置し、総額11億7,524万円を計上しました。

その結果15年度の経常利益は3,035万円を見込みました。

資本的支出の主なものは、拡張事業費では前年度より引き続き「より質の高い水道水の供給」を図るため高度浄水施設整備と配水管網の整備として400m実施します。建設改良では、配水管管種替工事等345m実施します。また、水質検査体制の強化として水質検査機器を購入し、自主水質検査充実を図っていきます。

これらの事業費15億1,777万円と企業債の元金償還金2億4,681万円を合せ、総額17億6,458万円を計上し、財源として企業債9億3,490万円と国庫補助金4億4,625万円を見込みました。